



# 新武蔵野クリーンセンター(仮称) 第三期 施設・周辺整備協議会 委員視察報告

視察日：平成26年3月11日(火)

## ■視察先

- ①江東区環境学習情報館 えこっくる江東
- ②(株)ナカダイ 品川ショールーム
- ③東京ガス(株) 環境エネルギー館

## 1. 視察概要

■視察日時 平成26年 3月11日(火)

■視察施設 ①江東区環境学習情報館  
えこっくる江東  
(東京都江東区潮見1-29-7)

②(株)ナカダイ  
品川ショールーム  
(東京都品川区南品川2-4-5)

③東京ガス(株)  
環境エネルギー館  
(神奈川県横浜市鶴見区末広町1-7-7)



えこっくる江東



環境エネルギー館



(株)ナカダイ 品川ショールーム

## 2. えこっくる江東



### 2-1. 施設概要

#### <江東区環境情報学習館 えこっくる江東 概要>

開館	平成19年2月
施設構成	1F エントランスホール、展示コーナー 2F 企画展示コーナー、情報コーナー、ワークショップルーム、研修室
敷地面積	約19,149m <sup>2</sup>
延べ面積	約3,727m <sup>2</sup> (うち、えこっくる江東は約1,028m <sup>2</sup> )
管理運営	江東区による公営



2

## 2. えこっくる江東



### 2-1. 施設概要

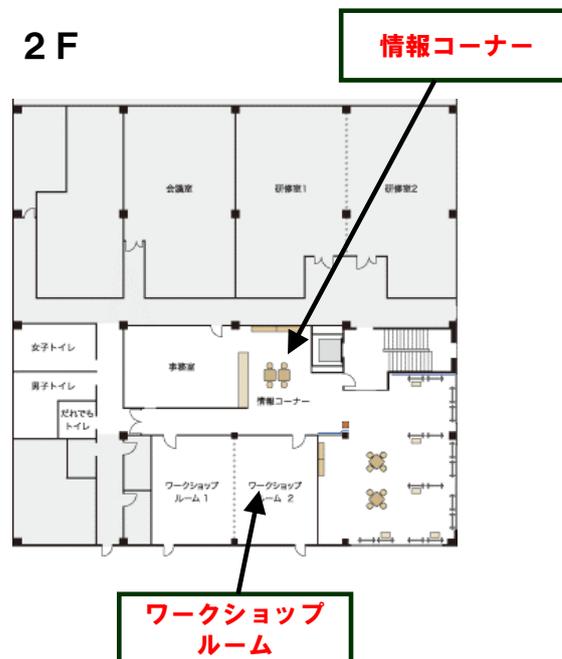
#### <フロアガイド>

- 1階が常設展示コーナー
- 2階が企画展示コーナー、ワークショップルーム、情報コーナーなど

1 F



2 F



3



## 2. えこっくる江東

### 2-2. 施設の特徴

#### <施設コンセプト 事業内容>

### 学習、活動、情報発信の拠点

- 環境負荷の少ない地域社会の構築を図り、地域及び地球の環境保全に貢献することを目的として、次の事業を行っている。

- ・情報の収集及び提供
- ・講演・講座等の開催
- ・環境学習の振興
- ・団体(人材)の育成

- 環境問題に関する「気づき」を増やしていきたいというコンセプトの下、わかりやすく学べる施設を目指している。

4



## 2. えこっくる江東

### 2-2. 施設の特徴

#### <展示内容>

### 環境についての幅広い展示

- すべてのテーマをくまなく取り上げるとともに、体験学習と展示学習とが相互的に補えるような学習プログラムを実施。
- 展示の説明はボランティアの方が行っている。

#### 【地球ゾーン】

- ・江東区の自然
- ・青い地球
- ・赤い地球

#### 【生活ゾーン】

- ・生活の見直し
- ・大量廃棄
- ・大量生産・大量消費



5



## 2. えこっくる江東

### 2-2. 施設の特徴

#### <多様な講座・イベント>

### 多岐にわたる講座やイベントの実施

- さまざまな分野のスペシャリストとともに学習プログラムを開発し、多岐にわたる講座やイベントを実施。
- 事業運営の多くは区民ボランティアが担う。土日を中心に講座を開催。地元の環境保全団体に講座の運営を依頼。



開催予定の講座



## 2. えこっくる江東

### 2-3. 見学の様子

#### ・1階常設展示ゾーンの見学(地球ゾーン)



・地球上での様々な環境問題を提起する展示



・食卓に並ぶ食品がどこで作られたものを示した展示



## 2. えこっくる江東

### 2-3. 見学の様子

#### ・1階常設展示ゾーンの見学(生活ゾーン)



・ごみの分別について学べるゲーム



・江東区民1人が1か月にしているごみの重さを体験できる装置



## 2. えこっくる江東

### 2-3. 見学の様子

#### ・2階企画展示室、ワークショップルームなど



・企画展示室での展示  
(江東区を題材にしたゲームなど)



・環境関係の図書がある情報コーナー



・作業等が行えるワークショップルーム



## 2. えこっくる江東

### 2-3. 見学の様子

・積極的に導入されている環境配慮技術



・ハイブリッド発電(風力+太陽光)



・ビオトープ



・屋上ハーブ園

10



## 2. えこっくる江東

### 2-4. 質疑応答、説明等

●主な利用者はどこが多いか。

⇒講座、イベントに関しては、江東区内からが多い、見学に関しては団体が多く、修学旅行生などが自主的にコースに組み入れて見学に来ることも多い。

●ボランティアが参加する仕組み

⇒養成講座を行っており、講座の修了生に声をかけ参加してもらったりしている。

●講座自体の企画、運営についてはどこが主体となっているか。

⇒企画自体の決定はえこっくる江東で行っているが、運営自体は各講師に任せている部分が多い。

※施設は江東区の直営で、区職員3名、嘱託1名、非常勤4名の計8名で運営。  
※施設は江東清掃事務所との併設であるため、施設の維持管理は清掃事務所が一括して行っている。

11

### 3. (株)ナカダイ 品川ショールーム



#### 3-1. 施設概要

##### <株式会社ナカダイ 品川ショールーム 概要>

- 廃棄物を素材に新しい価値を創る、モノ・ファクトリーの一環としてのマテリアルライブラリー
- 前橋の工場に加え、品川ショールームがオープン



12

### 3. (株)ナカダイ 品川ショールーム



#### 3-2. 見学の様子

- ・本社9階 モノファクトリーの様子



- ・本社ビル9階がショールームになっており、廃材をマテリアルとして販売している。

13

## 4. 東京ガス(株) 環境エネルギー館



### 4-1. 施設概要

#### <東京ガス(株) 環境エネルギー館 概要>

開館	平成10年11月（平成26年3月閉館）
敷地面積	約11,000m <sup>2</sup>
延べ面積	約8,200m <sup>2</sup>
階数	地上6階、地下2階



14

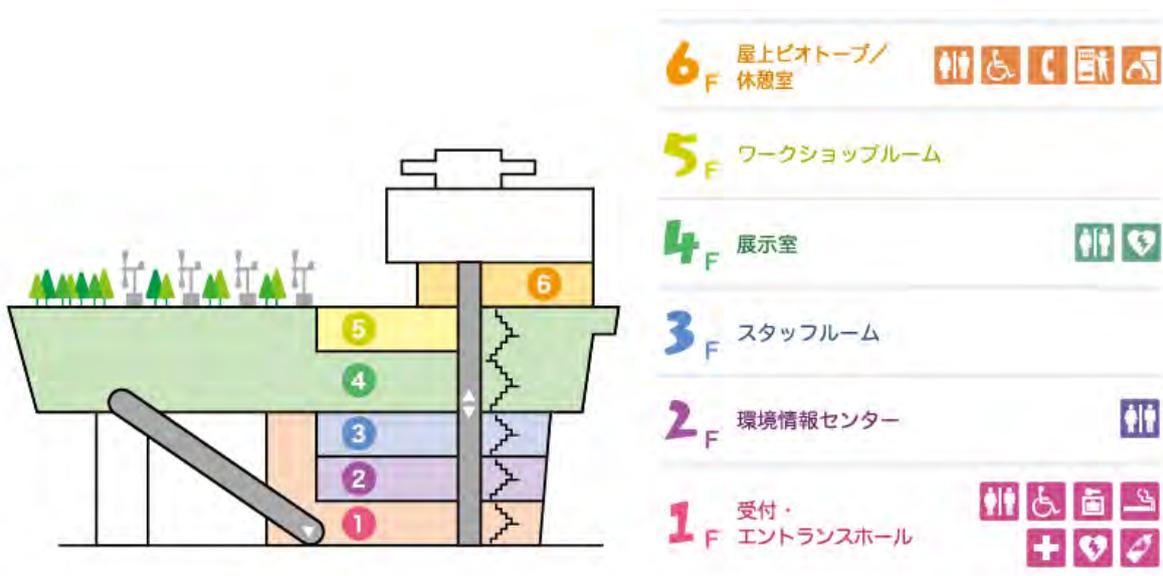
## 4. 東京ガス(株) 環境エネルギー館



### 4-1. 施設概要

#### <フロアガイド>

- 4階が展示コーナー
- 2階が環境情報センター、6階屋上ビオトープ



15



4-1. 施設概要

<4階展示コーナー>

- 4階がメインの展示コーナーとなっている



展示室



ワンダーシアター



ELTV 地球大好き放送局



4-2. 施設の特徴

<特色>

**参加体験型の展示物とインタープリター**

- 環境エネルギー館の展示物は、触って動かすことができるハンズ・オン方式をとっており、解説文などの文字表記は最小限にとどめている。
- 展示物やプログラムをきっかけに見学者の感性を刺激し、ともに考えることで環境問題への理解を深めていく手助けをする案内人「インタープリター」が展示について説明を行っている。

**環境に配慮した設備**

- 建物自体も展示物との考えの下、光・風・水・緑・土など自然の力を最大限に活用している。
- 都市ガスを用いた発電方法の燃料電池と、廃熱の有効利用を実現するコージェネレーション・システムを利用するなど、環境への負荷を極力少なくすることに務めている。

## 4. 東京ガス(株) 環境エネルギー館



### 4-3. 見学の様子

・ハンズオン形式の展示とインタープリター



18

## 4. 東京ガス(株) 環境エネルギー館



### 4-3. 見学の様子

・積極的に導入されている環境配慮技術



・風力発電(屋上)



・ビオトープと太陽光パネル



・燃料電池(地上)

19



### 4-4. 質疑応答、説明等

- インタープリターの役割  
⇒ 目に見える展示物から、その背景にある現象について伝える、考えるきっかけを持ってもらう手助けをすることが役割
- インタープリターの出身分野  
⇒ 教育関係者、造園、環境など様々な出身の人材がいる。
- インタープリターの育成について  
⇒ 基本は現場でのOJT研修。経験年数を積んだインタープリターから若手へ伝承している。年間に外部での研修も実施。
- 小学校などの団体の見学コースについては、インタープリターが企画し、個別にプランを組み立てている。